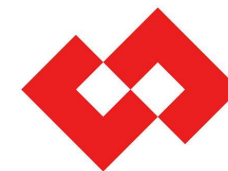


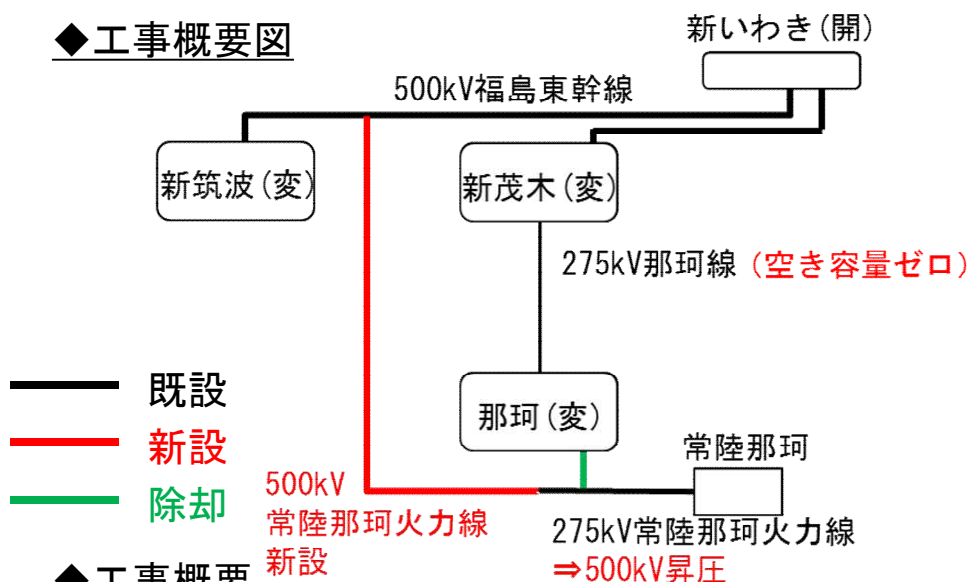
北関東東部募集プロセスエリアにおける 系統連系方策について

2019年10月8日
東京電力パワーグリッド（株）



- 茨城県や千葉県などで低圧事業用発電設備（50kW未満）の契約申込みが旺盛で、北関東東部募集プロセス（高圧・特別高圧連系発電設備を募集）の対象エリアにおいても、想定を上回る契約申込みを受付。（2019年3月18日系統ワーキンググループ）
- 一方、当該エリアは募集容量に対して応募容量が大幅に下回ったことから、募集要綱に則った手続きの継続の是非について判断するため、募集プロセスの手続きを一時延期のうえ、電力広域的運営推進機関に対しノンファーム適用系統への整理を申入れ。今後、広域系統整備委員会での検討・整理に向け当社としても検討を進め、当該エリアの発電事業者に対して速やかに検討・整理の状況をお知らせしたいと考えている。
- 併せて、今後、先行確保していた枠を超過する見通しの低圧事業用発電設備について、混雑時の発電出力制御を前提とした接続を早期に導入し、契約申込みに対する回答（連系承諾）を行っていききたいので、ご審議いただきたい。

- ### ◆工事概要図

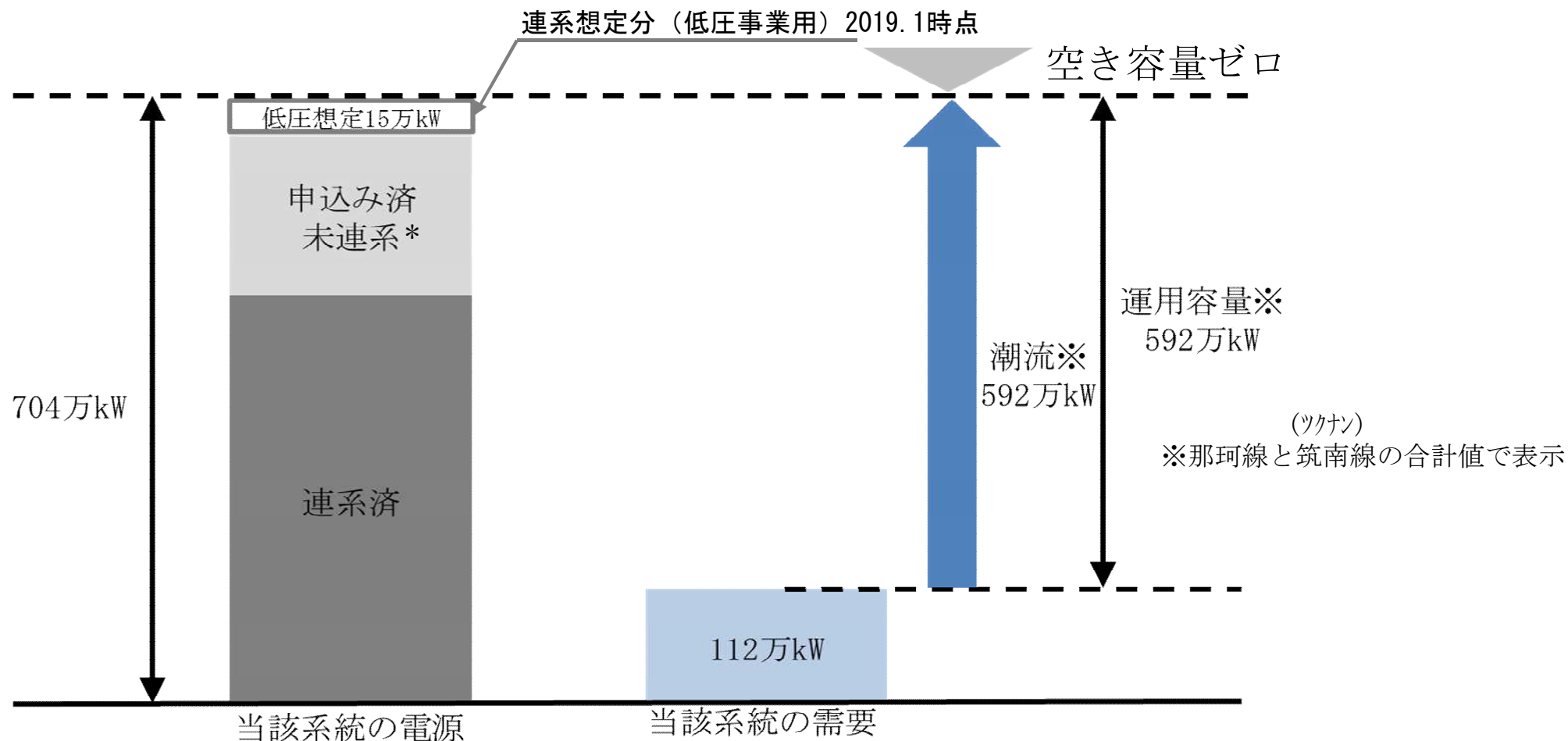


◆工事概要

-
- 募集プロ

2. 北関東東部募集プロセスエリアにおける低圧事業用枠の確保状況

- 本プロセスを開始するにあたり、募集対象外である低圧事業用発電設備向けに、連系想定分として、枠を先行確保。

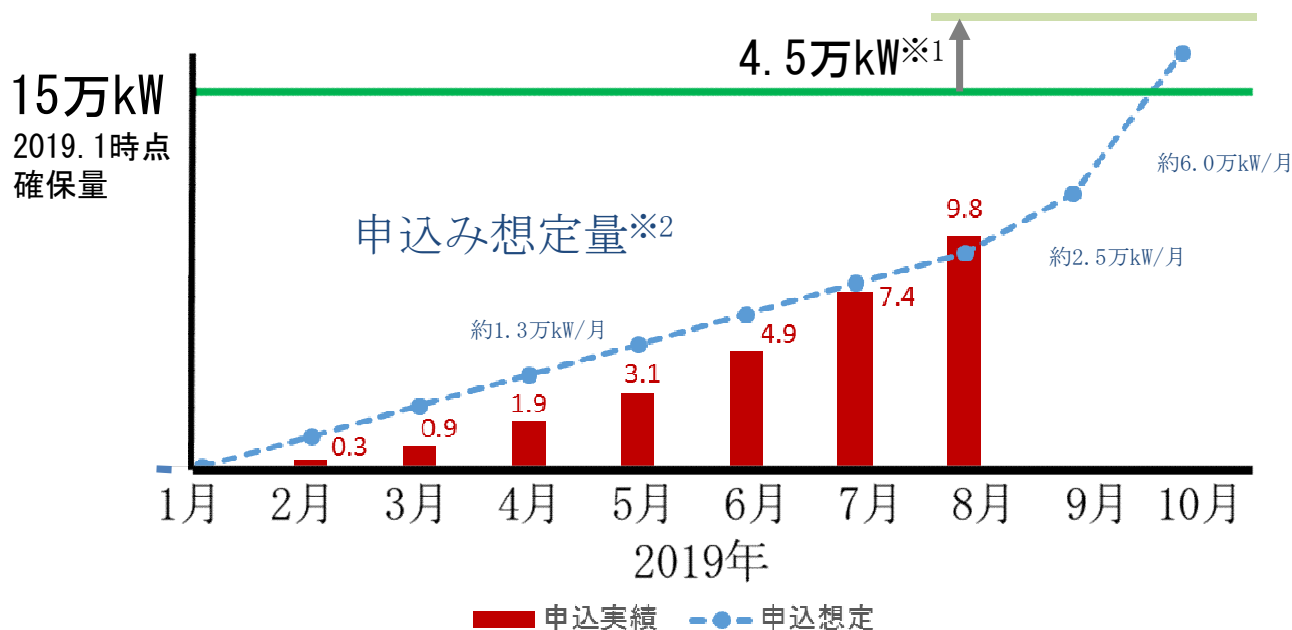


* 低圧事業用の2013～2016年契約申込みのうち8割が契約解除になるものと想定
(契約申込み量から連系済を控除した数値の2割を「申込み済未連系」として計上)



3. 低圧事業用発電設備の申込み状況

- 申込想定に基づく、10月には、本プロセスで先行確保していた枠（15万kW）を超過する見通し。
- 先行確保時点での想定を上回る契約解除実績4.5万kW（低圧事業用）を枠に追加しても、超過までの期間を大きく伸ばすことにはならず、11月には、追加後の枠も超過する見通し。



※1 契約解除想定（前シート）よりも契約解約実績が4.5万kW多く発生

※2 2018年度の申込み推移を使用



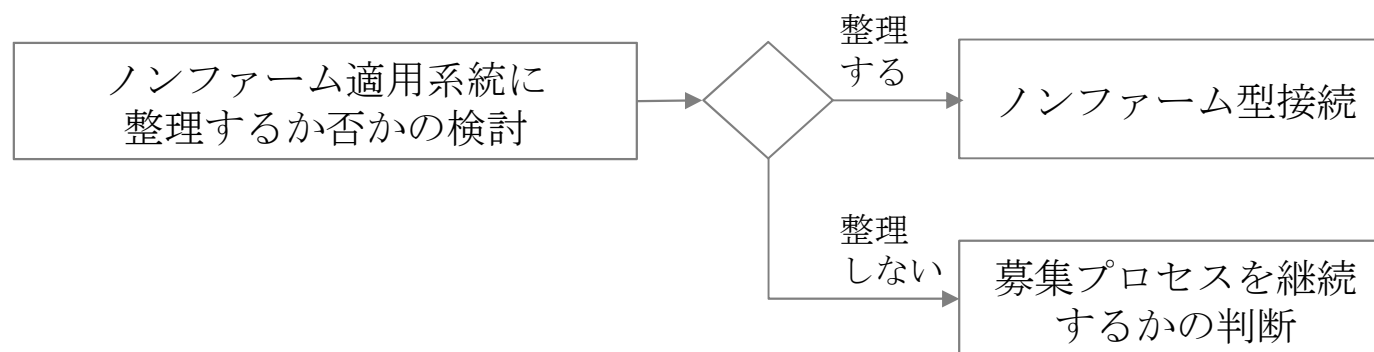
4-1. 系統連系方策／高圧・特別高圧発電設備

- 募集プロセス応募発電設備

ノンファーム適用系統に整理するか否かの検討結果に応じて、以降のアクセス手続きをご案内させていただきたい※1

- 募集プロセスに応募していない発電設備

募集プロセス完了以降に、アクセス手続きをご案内させていただきたい※2



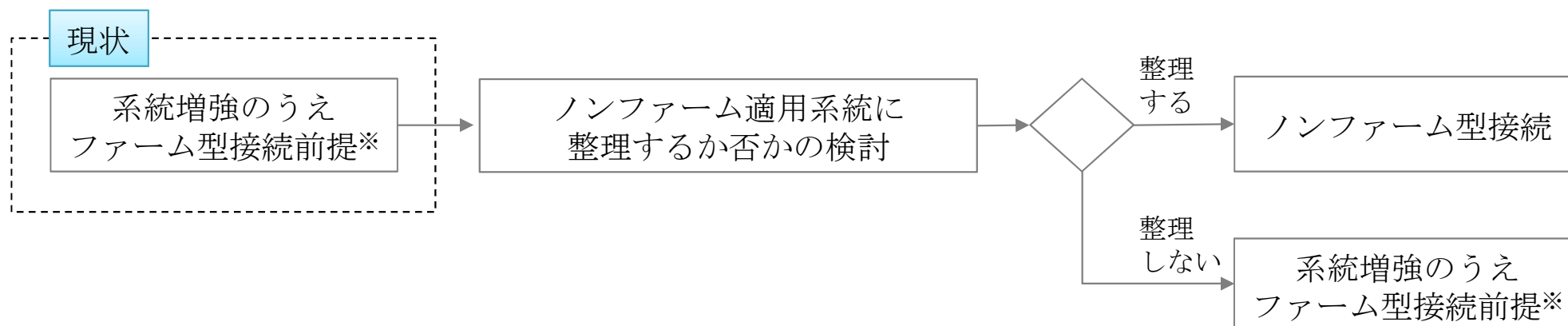
※1 募集プロセス応募発電設備は、「北関東東部エリアにおける電源接続案件募集プロセス 募集要綱」を承認のうえ応募していること、同要綱にて系統アクセスの手続き（プロセスを不成立としてプロセス完了とする条件等を含む）が規定されていることから、募集プロセスの扱いを決めた以降にアクセス手続きが可能

※2 募集プロセスに応募していない高圧・特別高圧発電設備については、電源接続案件募集プロセスに係るルール（接続検討申込みに対する回答はプロセス完了後、プロセス完了までは契約申込みの受付不可）に基づき、プロセス完了以降にアクセス手続きが可能



4-2. 系統連系方策／低圧事業用発電設備

- 基幹系統の空容量が不足することへの対応として、①系統増強のうえファーム型接続（暫定接続〔次シート参照〕を適用し、基幹系統の増強完了を待たず系統連系可とする選択肢あり）、②要請中のノンファーム適用系統への整理という2通りの可能性があるが、発電事業者にとっては暫定接続・ノンファーム型接続のいずれも、混雑時の発電出力制御を前提とした接続であることは変わらない。
- 以上を踏まえ、当社として、混雑時の発電出力制御を前提とした接続を早期に適用し、引き続き契約申込みに対する回答(連系承諾)を進めさせていただきたい。（詳細については、説明会等の機会を通じて、発電事業者へ丁寧に説明することとしたい。）



※ 当社として、暫定接続を適用



参考. 暫定接続について

第38回 電力広域的運営推進機関 広域系統整備委員会資料から抜粋

1-(1)-5. 暫定接続の仕組み

8

- ファーム電源とは、発電するために必要な容量があらかじめ系統に確保されている電源である。このため、空容量の範囲内で接続する電源はファーム電源であり、空容量が不足する場合は設備増強（N-1電制含む）が必要となる。
- ノンファーム電源とは、発電するために必要な容量があらかじめ系統に確保されていない電源である。このため、空容量が不足する系統に接続するための設備増強は不要である。
- 暫定接続とは、空容量が不足する場合に必要な容量を確保するために設備増強を行うが、平常時の出力抑制を条件に設備増強完了前に早期接続できるようにする仕組みである。このため、暫定接続はファーム電源に適用する仕組みである。

【暫定接続の仕組みのイメージ】

